

花時計

◆ 季節のデザイン「苺」◆

春の訪れを感じていただけるよう苺をデザインしました。

神戸でのイチゴ栽培は 1920 年代に今の北区有野町の二郎(にろう)で始まったと言われてています。

現在、北区と西区で 153 戸の生産者がおられ、約 30 ヘクタールの栽培面積があります。

神戸市では今年度から農水産物の輸出に取り組んでおり、その第 1 弾として「神戸イチゴ」の香港への試験輸出を行いました。また、昭和 35 年に市が育成したイチゴ品種の栽培が半世紀ぶりに甦り、このたび「神戸ルージュ」と命名されました。

期間

2015 年 3 月 5 日～2015 年 4 月下旬

使用花苗

パンジー(赤):1,200 株 シロタエギク(白):1,500 株 タマリユウ(緑):300 株
合計 3,000 株

